よつ葉だより

2021年
3月8日号
No.642

◆新型コロナウイルス感染症対策たすけあい募金◆

栃木県 860
群馬県 861
茨城県 862

ご協力ありがとうございます

被災の経験がいのちを守る原点に

近年、毎年のように日本の何処かで災害が起こっています。河川の多い日本では、水害は身近な災害の1つと言えるでしょう。

その中で私が一番心に重く残っている水害は、平成10年8月に起こった『那須豪雨』。当時那須に住んでいた私は、生まれてはじめて自ら体験した災害です。小さい頃、よく父と釣りをして楽しんだり、川での水遊びをしたりと慣れ親しんだ川が、今まで見たことのない姿を表したのです。

26日から31日にかけて降り続いた大雨は、町内の川を増水させ、次々と橋を崩壊し、道路などの交通網と電気・電話などのライフラインを寸断し、一時那須町の一部は陸の孤島と化しました。幸いにも私の自宅は無事でしたが、友人の家は増水した川に流されて半壊、近所の畜産農家は牛舎が壊れて牛が流されました。浸水家屋は14000棟以上あった、と聞いています。

8月の終わりとは言え、まだ暑さが残る中の避難住所生活は大変なものでした。はじめて経験する硬い床での寝起き、知らない人がいる中での生活。ムシムシする中、籠る匂い。また、当時は今ほどインターネット環境も整っていなかったので、外部と連絡が取れる手段がなく、心細い気持ちにもなりました。

これまでも大きな災害を幾度と見ていて、知ってはいましたが、全て画面越しに報道されているものを見ているだけで、「災害＝自分にも起こりうるもの」と言う意識はなかったように思います。

水害時の寺子地区の写真（写真中央に流れている川が余笹川、流されている橋が寺子橋です。現在は新しい橋に付け替えられています。）

写真と説明文は、那須塩原市役所ホームページより転載

全国各地からのボランティアさんや救援物資は大変ありがたかったです。「おたがいさま」「困った時は助け合うんだよ」この時支えてくださった事は、世の中に少しずつでも返して行きたいと思っています。

災害はいつ、誰に起こるか分かりません。どうしようもない事もあります。それでも被害を少なくする為に、自分自身と家族を守る為に、日頃から出来ることはきっとあります。防災グッズを用意しておく事も大切。また、災害は地球からの助けてのSOSだと思うので、環境のことを考え続けることも、自分達を守っていく事に繋がっているのではないでしょうか。

「人を生かすのも殺すのも水次第」と水害にあった方が言っていたのが、今も心に残っています。水にいのちを守ってもらえるよう、私達も水や環境を守って行かなくてはいけないですね。

理事　渡辺

我が家の防災　委員会に所属している組合員さんに聞いてみました～その1～

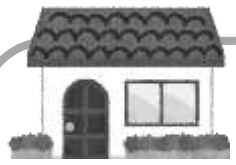
10 年前 3.11 の後の計画停電の時にロウソクを食卓に置いての夕食や、ヘッドライトを着けて食事を作ったり等の経験から、懐中電灯を常に身近な所に置いたりロウソクやヘッドライトを増やしたり、停電や災害の時にと備えています。食料は乾麺や粉類、缶詰めをストックするなど心がけています。

（伊勢崎委員会　吉田さん）

持ち歩いてる物は、手ぬぐい、飴、折りたたみコップ、ペン、メモ用紙、ライト(キーホルダーの小さい物)、笛(鍵に付けてます)、ビニール袋、アルコール消毒、マスク、電話番号を書いた紙。

家族（子ども）と確認していることは、留守番中に地震がきたら、出口の確保(揺れが収まったら、戸締まり)。登下校中地震がきたら、ブロック塀などから離れる。

（足利委員会　上武さん）



休日子どもと出かける時は防災ポーチを持っていきます。ビスケット、絆創膏、紙おむつ、ビニール袋、マルチツール、小銭、マスク、ウエットティッシュ、カイロ、ペンとライトと笛が一体化したやつ、コピー用紙、子どもの保険証など入れています。1 人で出かける時は何とかなるだろうと思って、持っていかないですが、1 人用のポーチもあった方がいい気がしています。

過去に宇都宮南委員会でやったパッククッキングがとても参考になりましたよ！ビニール袋に入れた食材を大きめの鍋でグツグツするんです。プラ製品での加熱調理だから、そこに不安はありますが、いざという時には使えるなと思います。

非常時は子どもの精神が落ち着くように、好きなキャラクターのものがあると良いということで、入れるものが増えないようポーチをアンパンマンにしてます。

（鹿沼委員会　大嶋さん）

3ページへ
つづく⇒

ローリングストックと同じ考えで、替えの新品の下着や靴下を防災リュックに入れています。数日分の新しい下着や靴下(一度洗濯したもの)を各自の防災リュックに入れておき、普段使っているものを取り替えるタイミング(靴下は穴があいた時など、子どものは頻繁に穴があくので急な時にも対応)でそこから出して使い、後日買い足したら非常袋に入れます。子どものものはワンサイズ上のものでもいいですね。

また、キャンプでも使用するのですが、懐中電灯はヘッドライトがオススメです、両手が空いて便利です。

（鹿沼委員会　石黒さん）

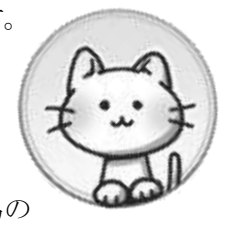
最低でも水だけはしっかり確保しておかなければ、という気持ちがあるので、水はペットボトルでたくさん保管してあって使っては補充、を繰り返しています。

うちは井戸水を使っているのですが、先日モーターの調子が悪くなり１ヶ月ほど水が止まったり出たりの不安定な状態でした。朝から水が出ないと通学・通勤の時間もあり慌てましたが、ペットボトルの水があったのでそれで飲み物を作り、よつ葉で購入したインスタントのお味噌汁も飲むことができ、いつも通りに通学・通勤できました。改めて備蓄の大事さと、水がいかに生活に大きく関わっているか再確認した出来事でした。

（小山委員会 篠原さん）

我が家は小学生の娘が私よりしっかりしているので、先日も自分で作った防災リュックの中によつ葉さんで購入した、お水を入れるだけで食べられるお餅を追加で入れていました。

東日本大震災の時に、水のストックがあまりなく苦労したので(娘が生まれたばかりで放射能が騒がれていた時期でした)、今は水とよつ葉で揃えた備蓄を用意しています。また、当時遠方の友達や親戚がお水やカイロを送ってくれたので、私も大切な人が困っていたら動ける人間になりたいと思っています。



昨年子猫が迷い込んで来たので、その猫用の備蓄として２ヶ月分のフードと１週間分の水、予備のトイレセットをひとつ用意しています。車のトランクに、万が一避難所で暮らす場合の為のケージを入れてあります。今はペット可能な避難所があるそうなので、家が無理な場合は、そちらを利用する予定です。

（宇都宮南委員会　野尻さん）

非常袋は、家族人数分作り、春と秋に、中身を入れ替えています。夏は冷えピタ、冬はカイロを入れます。好みのチョコやグミ、非常食は、たまに試食して、好みの味を入れています。
普段食べ慣れないものは、非常時も食べられないと思うので、今年度の夏は、キャンプ気分で、非常食を家族で食べて味見しました。

100 均で売っていた、水で膨らむタオルは便利なので、最近追加しました。缶詰と野菜ジュースはローリングストックで切らさないようにしています。

（前橋高崎委員会　鈴木さん）

防災グッズの中に、付箋や文字が書けるテープとペンがあると家の玄関とかに連絡事項を書いておけます。あと防災ラジオが、10 年前の地震で役立ちました。携帯の充電ができて、手回しで発電するし、ライトもついてました。頭につけるライトが、夜停電で見えないところを歩くのに重宝しました。キャンプ用品が、防災グッズとして役立ちました。飯盒炊飯器や、炭とか使い慣れていると、楽。火が起こせれば、いつも食べている物で、何とかなります。乾物は、日頃からよく食べるので、非常食がわりになります。

（宇都宮北委員会　鈴木さん）

我が家の防災　保存食レシピ

我が家は常日頃から保存食を季節毎に作っています。今の時期はお味噌作りです。今年は 3 かめ仕込みました。そして、干し芋です！
炊飯器で５、６本一緒にご飯炊きモードで炊きます。
熱い内に皮を剥くと薄く剥けます。
冷めてからお好きな厚さに切って天日で３日干します。

常日頃から保存食作りをしておくといざというときに役に立ちますよ。保存料のない昔からの保存食はいかがでしょうか？

（文化委員会 鈴木さん）

『消費者リポート』について

よつ葉だより No.640（2 月 22 日号）「子どもの食べている食品添加物を知っていますか？」で取り上げた「消費者リポート」について、ご説明します。

科学ジャーナリストの天笠啓祐氏が顧問を務めるＮＰＯ法人日本消費者連盟が、食や健康、環境をめぐる問題（添加物、農薬、放射能、ワクチン、香害、電磁波など）の今を伝える、毎月発行の機関紙です。発行元の日本消費者連盟は個人会員制になっており、会員になると『消費者リポート』が毎月届きます。よつ葉生協から申し込むと、毎月の商品と一緒に配送でお届けします。**※毎年、自動更新されます。**

No1642（2 月 20 日号）の内容は…

特集：福島原発事故から 10 年　忘却圧力と闘う

Hot News：新型コロナ・ワクチンで再質問
超監視社会を招くデジタル庁構想
陥没で暴かれた大深度地下法

連載：容量市場～原発・化石火力への新たな補助金⑤

年会費　7200 円(購読料含む)
お申込み･お問い合わせは、
組合員組織部
(☎0120-07-1613)まで
お電話ください。

（理事　堀）

第9回 定例理事会報告2月10日(水)

組合員数（1月20日現在）	加入	脱会	純増	組合員
	87人	74人	13人	26,063人

《報告・協議事項》

(1) 2021年事業予算案策定について

例年、前年度実績を基準に事業予算を策定しますが、今年度は新型コロナウイルス感染症蔓延により、生協の供給高は大幅に進捗しました。そのため2021年度事業予算策定にあたり2020年度の実績では基準となり得ないため、2020年度計画を参考にし、経費予算を圧縮して作成しています。コロナ禍で経済の見通しが難しいことから確実な伸長を目指した予算案を策定しております。

(2) 脱原発、新聞掲載パレード受付け結果について

1月11日(月)～1月29日(金)まで取り組んだ脱原発、新聞掲載パレード賛同者の受付けでは、613名(941口)941,000円と多数の方に賛同いただいております。脱原発への組合員意識が高いことが伺える結果となりました。2021年3月11日の下野新聞に「原発のない社会を求める」意見広告として掲載されます。

(3) 第18回危機管理委員会報告より

栃木県は、2月7日をもって緊急事態宣言は解除されましたが、飲食店の営業時間や酒類提供時間は段階的に緩和する方向です。一方、医療提供体制に関しては「引き続き危機的な状況」が続いています。県内の新規感染者数は低下傾向ですが、高齢者施設や医療機関でのクラスター等も引き続き感染予防は重要です。また、友好生協でもコロナ感染者が報告されており、予断を許さない状況は続くと思われます。

(4) 秋山さん落ち葉さらい（下野市）実施について

前回、1月末から延期になった落ち葉さらいを2月20日(土)に理事・委員会・職員のメンバー(総勢34名)で行いました。

今年度はコロナ禍もあり、一般の組合員さんの募集は行えませんでしたが、コロナが終息した際には組合員さんやご家族にも参加いただきたいと思います。

よつ葉太陽光発電報告

○2020年12月25日から2021年1月27日（33日間）の太陽光発電量は、10,750ｋＷｈでした。CO2削減量は3,381kg（18Lの灯油缶を142本燃焼した量）です。

ご意見・ご感想をお寄せください。お名前と組合員番号をご記入の上、共同購入注文書またはお手紙でお願いします。掲載の方には粗品をプレゼントいたします。※掲載するにあたって事前ご連絡をすることはありませんので、ご了承ください。

コミュニケーションカード

ご意見、ご要望、何でもどうぞ。
配達時に提出してください。

配送担当者へのメッセージカードとしても!!

組合員番号	組合員名

※寄せられたご意見は、よつ葉のサービス向上のために、よつ葉だより、くらら等に掲載させて頂く事があります。

掲載しても　□良い　□悪い

※寄せられたご意見は、よつ葉生協のサービス向上の為、それ以外には、一切使用いたしません。

新型コロナウイルス感染症対策たすけあい募金報告（2月4週分）

ご協力ありがとうございます。
組合員さんの助けあいの気持ちが広がっています　（単位：円）

栃木コロナ支えあい基金	（860番）	7，900
群馬コロナウイルス対策募金	（861番）	5，800
茨城誰かのために募金	（862番）	700
合　計		14，400

共同購入注文書の該当番号に数量をご記入ください。
WEB注文の場合は、左側［企画商品・募金］内の［募金関連］をクリック。
一口100円の募金になります。

東日本大震災･東電原発事故での支援金 募金報告（2月4週分）

ご協力ありがとうございます。
組合員さんの温かいお気持ちが今週も寄せられています　（単位：円）

放射能から子どもを守る募金	（900番）	7，500
震災孤児を支援する募金	（910番）	27，600
「有機農業と国産種子」募金	（920番）	10，800
合　計		45，900

共同購入注文書裏の「10品以上の記入欄」に該当番号と数量をご記入ください。
WEB注文の場合は、左側［企画商品］内の［復興支援募金］をクリック。
一口100円の募金になります。

●編集・発行よつ葉生活協同組合　小山市粟宮1223
0120-07-1613　TEL 0285-45-9100　FAX 0285-45-9101
HP http://yotsubacoop.jp/
よつ葉だよりメールアドレス yotsubadayori@yahoo.co.jp

よつ葉生協ホームページ

よつ葉生協Facebook